



平成22年12月20日

地域の担い手 消防団活動に協力した練馬区に総監感謝状を贈呈！

～区有地を分団本部施設用地として提供し、消防団の活動拠点の整備に協力～

東京消防庁では、特別区消防団の活動の充実強化を図ることを目的に、各分団に活動資機材の格納庫と待機室を併せ持った分団本部施設の整備を進めています。しかしながら、土地事情により分団本部施設建設用地の確保に非常に苦労している状況です。

一方、将来の地域防災の担い手を育成することを目的に、年齢に応じて段階的に防災に関する知識・技術を身に付けていく総合防災教育の実践について特別区内各小・中学校にお願いしており、消防団員は、この総合防災教育の重要な担い手でもあります。

このような中、練馬区では、当庁の推進している消防団施設整備及び総合防災教育について理解され、区内の練馬消防団、光が丘消防団及び石神井消防団の各消防団で分団本部施設が整備されていない区域にある区立小学校の敷地の一部をはじめとする区有地を分団本部施設用地として提供し、消防団の活動拠点の整備に協力するとともに防災の強化を進めていくことを区の方針として打ち出しました。

これらのことから、練馬区の消防行政への多大なるご協力に対し、下記のとおり消防総監感謝状を贈呈します。

記

1 日 時

平成22年12月22日（水） 13時15分から

2 場 所

練馬区役所 5階 区長室
練馬区豊玉北6-12-1

3 贈呈者

消防総監 新井 雄治（あらい ゆうじ）

なお、当日は、伊藤 克巳（いとう かつみ）防災部長が代理で贈呈します。

4 受賞者

練馬区 (代表 練馬区長 志村 豊志郎 (しむら とよしろう))

5 列席者

(1) 練馬区

関口 和雄 副区長
平野 和範 危機管理室長
鷺田 功 防災課長
荷田 幸雄 安全・安心担当課長

(2) 当庁

鈴木 和雄 練馬消防署長
三好 和人 光が丘消防署長
馬場 克久 石神井消防署長
鈴木 浩永 消防団課長

(3) 消防団

中村 壽男 練馬消防団長
関口 嗣男 光が丘消防団長
小池 亘 石神井消防団長

問い合わせ先

〔 東京消防庁 (代) 電話 3212 - 2111 〕
〔 広報課報道係 内線 2345～2349 〕

※ 参考

現在のところ、練馬消防団は8分団中2つの分団、光が丘消防団は5分団中1つの分団、石神井消防団は10分団中6つの分団しか分団本部施設が整備されていない状況ですが、練馬区と当庁で連携を図り、今後計画的に分団本部施設の整備を進めていく予定です。

分団本部施設の整備状況

1 練馬消防団 第8分団

平成20年度建設

場 所：練馬区中村北四丁目17番 区立中村西小学校校庭内

規模等：鉄骨造、平屋建て、64.59㎡



2 光が丘消防団 第3分団

平成22年度建設（12月末から着工予定）

場 所：練馬区土支田二丁目26番 区立豊溪小学校校庭内

規模等：鉄骨造、2階建て、建築面積41.71㎡、延べ面積83.42㎡

以上の他にも数か所、建設に向け練馬区と調整中です。